

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説
(平成 26 年 7 月 18 日)

【一】子曰く、貧しくして怨むること無きは難く、富みて驕ること無きは易し。

孔子が言うには、貧乏で愚痴をこぼしたり、他人を怨んだりしないのは、なかなか難しい。金持ちでおごることは簡単である。

やはり貧しい時は、どうしても愚痴をこぼすし、他人を妬むことがあります。鉄砲洲神社入り口に「威張るな・妬むな・欲張るな・怒るな」と掲げてあります。威張ると、神様が見放し、欲張るとお金が去ってゆき、貧乏をしていると周りをつい妬んだり嫉んだりしますが、これはなるべく減らしましょう。多少お金が残るようになると鼻が高くなるから、なるべく人様に奢るのが良いと捉えればよいでしょう。

現代で考えてみれば「貧しくして怨むこと無きは」、例えば生活保護より少ない収入の人達は、けっこう増えています。生活保護が羨ましいという人がいます。仕事をして一生懸命働くけれども、生活保護の人の収入に届かないという外国人が多いようです。だから羨ましいということになります。妬み嫉みがつい出てしまう。言わないということは、今の時代なかなか難しい。難しいといっても収入そのものが少なすぎるのだらうと思います。

前にも申し上げましたが、貧困女子という言い方があります。貧困女子は都内に住み家賃を払った後に、手取りが 8 万円未満の場合、貧困女子という。でも今は親掛かりが多いですから一概には言いきれませんが、本当に貧困女子の場合には恨みごとを言う人もいるのではないかという気がします。

金持ちは、今はどうでしょう。1 千万が中小企業の社長や中堅サラリーマンの目標だそうです。ただ 1 千万円だと、けっこう税金が取られます。今度、最高税率が上がりますから 4536 万円の収入の人は、大雑把にいて間接税や直接税を入れて 6 割がた取られます。こんな馬鹿馬鹿しい話があったもんじゃないと思うのですが、目標は 1 千万円の年収だそうです。そうすると 3 割から 4 割ぐらいは取られるのではと思います。

パーキンソンの法則でいうと、国の税率が 36%を越すと国は滅びに向かうという話です。ちなみにイギリスが覇権国家ではなくなったときの最高税率は 98%を取っていた。不労所得（家賃収入みたいなもの）でも 98%の税金が取られていたら、やはり嫌になります。これで滅びる方向にいった。額に汗して働いた人も 8 割以上取られたそうですから、これはどうしようもないですね。

【一二】子曰く、孟公綽は、趙魏の老と為さば則ち優ならん。以て滕薛の大夫と為すべからず。

孟公綽という人は、無欲で有名でしたが、才能はいまひとつの人物です。人柄は良いのですが、才能はいまひとつという人なので、日本で考えると大名家臣の家来であれば、非常に優秀であり勤まります。しかし小さな国の総理大臣には、ちょっと無理でしょう。

渋沢栄一の解釈のなかで、徳川時代の話を出していました。加賀藩、伊達藩は 100 万石以上ということで、大大名。大大名としての格式があり、家来も氣前が良い。

蜂須賀家の家老稲田九朗兵衛は 10 万石であった。それから伊達藩の片倉小十郎も 10 万石であった。そうすると 10 万石を有する家臣は、参勤交代をしなくても良いですし、何か問題を起こしても幕府が直接手を入れて潰すということはないですから、結構のんびりやっています。でもたとえ 1 万石といってもひとつの国で、大名ともなれば参勤交代はしなくてはいけないし、何か問題を起こせば幕府が直接手を出して潰してしまうということがあります。

そこら辺を考えてみると、ここの孟公綽は大きな国の家老として仕えた場合であれば十分優秀である。滕・薛…今でいけば北朝鮮のような国を考えればよいですが、北朝鮮は、したたかな外交をしますから、アメリカ・ロシア・中国を手玉に取りながら、日本からも様々な援助をむしり取っていく。これは小さな国だけれども、そうとう頭を使わなければなりません。ですので内閣総理大臣としては、孟公綽は不適であると説明をしています。

本日はこれで終了といたします。有難うございました。